

1. 社会事業

①奉還町ユースセンターの運営

奉還町ユースセンターを毎週 5 日間、常設で開きました。高校生を中心に、中学生および小学生の利用も見られ、週当たりの利用は約 100 名となりました。不登校の子の利用も目立ち、フリースクールの代替としての機能も担いました。また 10 月には韓国の高校生約 20 名が訪問し、日本の学生と交流を行いました。



奉還町ユースセンター外観



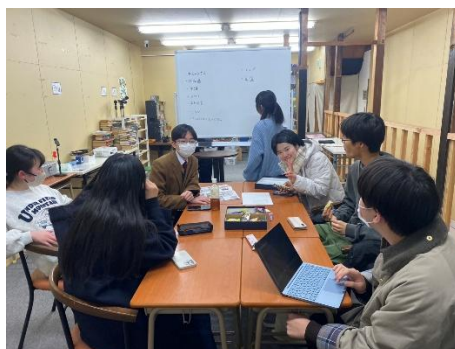
韓国の高校生との交流



利用者同士の交流の様子

②学校の枠を超えた高校生活動団体「#おかやま JKnote」の伴走

2018 年 1 月に設立した#おかやま JKnote は 7 期目となり、毎週 1 回の定例ミーティングも 2025 年 2 月に 350 回を迎えました。奉還町土曜夜市への出店、7 月に、芝浦工業大学・筑波大学附属坂戸高校との合同合宿を行い、真庭市にある「ユースセンターまあぶる」視察を行いました。



定例ミーティングの様子



奉還町土曜夜市の模擬店運営



真庭市での夏合同合宿

③探究活動支援

高校生の探究活動の実践フィールドとして奉還町ユースセンターを活用してもらいました。主なものとして、倉敷古城池高校をはじめとする高校生グループによる国際交流カフェ、岡山南高校新聞部による地域新聞作成、岡山大学教育学部附属中学校の探究チームによる商店街活性化アイデアづくりへのヒアリング協力などの支援を行いました。



国際交流カフェ



地域新聞作成のための取材



中学生探究活動へのヒアリング協力

④通信制高校生への支援活動

通信制高校の生徒のための支援活動として、公立通信制高校向けに、レポート送付用切手の無償配布を行いました。また、福武教育文化振興財団の助成を得て、通信制高校生同士の交流を図るカフェを、高校生自身が企画し、毎週1回運営しました。



郵送用切手配布コーナーの様子



交流カフェ試作会



ハロウィンイベントで提供したメニュー

2. 学習支援事業

①なないろ学習塾

2021年4月に開校した発達障害などの学習特性や不登校のお子様の高校進学をゴールに寄り添う新しい学習塾。2024年3月現在、小学生～高校生まで50名の生徒が在籍、代表の野村、副代表の右田、教室長の本田、アルバイトスタッフ8名の体制で運営しています。4月には倉敷教室を開講しました。



授業の様子



ICTを使った個別最適指導



4月新開設の倉敷教室

③通信制高校サポート校「奉還町学習センター」

2023年4月にオープンした通信制サポート校。連携先は鹿島朝日高校。授業は午後開始、商店街をフィールドとした独自の特別活動が特徴。10月には生徒企画で京都大阪への修学旅行を実施しました。2024年度は7名の卒業生を送り出しました。



教室での学習活動の様子



生徒企画の修学旅行



3月に行った卒業式

3. その他事業

青少年健全育成に向けた講師派遣事業

青少年健全育成活動の講演会講師派遣の事業を岡山県より委託され、103件の講演会等をマッチングしました。



2024 年度常勤スタッフ